

○副議長(五百川純寿) それでは会議を再開いたします。

引き続いて一般質問を行います。

中島議員。

〔中島謙二議員登壇、拍手〕

○中島謙二議員 自由民主党議員連盟の中島謙二でございます。今回の統一地方選挙におきまして、地元選挙区の皆様の多くの御支持を賜り、こうして初めての議会を迎えております。これから執行部の皆様、先輩議員の方々、そして同僚議員とともにしっかりと県勢発展、ふるさとの発展のため頑張っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

それでは、初めての質問をさせていただきます。何分にもふなれであり、的外れな部分あるいは重複する部分があるかとは思いますが、お許しをいただき、知事を初め執行部の御答弁をよろしくお願いを申し上げます。

まず、グローバル化の進む中での島根について伺います。

今日の日本においては、政治、経済を初め労働環境等社会のグローバル化が急速に進んでおります。例えば今話題に上がっています外国のファンド、企業による買収、合併のほか国内企業の海外移転転出、外国人労働者の増加、農産品の価格の下落、外国人犯罪の増加など、さまざまなグローバル化の影響を受けております。

そのような中、島根県と歴史的に密接な関係にある北東アジア地域の諸国、特に中国が経済発展を遂げ、世界の工場から世界の市場へと変貌しつつある中、これまでの日本の中で経済的に恵まれなかった島根県が地理的な近接という特性を生かし、北東アジア地域との経済交流を進めることにより、日本の経済先進地を目指すことのできる時代が到来してきております。

具体事例といたしましては、中国はロシアとの国境近くに港を確保し、周辺交通アクセスを整備する計画を進めております。また、ロシアもこの地域との間の鉄道の現代化に取り組んでいると聞いております。今後これらのことが進展いたしますと、中国やロシアの市場に島根が一挙に接近し、裏日本と言われた日本海側がこれらの国々と交易の表舞台に一躍登場できる可能性があるように思われます。

現在、本県もボタン、米、カキ等の農産物を初め、和菓子、かわらなど外国への輸出に取り組んでおります。また、最近では中古車を中心に好調なロシア沿海州への輸出の拡大が期待されるなど、着実に国際経済市場に進出しており、島根県もこれらの国際的な動きに注視しながら、外貨獲得のためきめ細やかな対応をしていく必要があると思っております。

このように、島根県においてもさまざまな分野のグローバル化が進む中、世界を舞台に活躍してこられた知事として、世界的な観点、大局的な着眼で島根を見た場合、どのようなとこ

るに発展の可能性があるのか、また魅力なり可能性があるとすれば、今後地域的、小局的に何を着手すべきと考えられるのか素直な思いを伺います。

次に、石見地域振興について伺います。

これまで均衡ある地域発展という観点から、石見地域振興については島根県政の大きな課題として浜田の県立大学、益田のグラントワに代表される巨大プロジェクトなど、県政史上まれなほど積極的に取り組まれてまいりました。

おかげさまで少数であった18歳以上の活力のある若者が地域に暮らし、また若者から高齢者まで幅広い年齢層が関心のある芸術文化や知的刺激を受ける環境が整備されたことにより、地域の雰囲気が大きく変わりつつあると実感する一方で、経済的にはこれらの取り組みにより、一定の効果は上げたものの、石見地域全体の状況はさまざまな面で依然厳しいものがあると認識いたしております。

県が発表された地域経済構造分析の結果からも明らかなように、公共事業に大きく依存せざるを得なかった石見地域では、引き続き公共事業の削減の影響も深刻であり、県が進める新産業創出、産業力強化等産業振興に向けて打ち出される事業もなかなか地域経済を浮上させるには至っておりません。

こうした中、もちろん地域発展に欠くことのできない高速道路網等の基盤整備には、引き続き最大限の力を傾注していかなければなりません。現在の国、県の財政状況から見ても、さまざまな面でハードからソフト重視への転換を進めていかなければならず、そのためにはまず地元が内発的に官民協働して地域のさまざまな資源を掘り起こし、活用するための知恵を出し合い、それぞれのできることから取り組んでいく必要があると考えております。

しかし、一方で石見地域に暮らす私たちには、そこに存在するさまざまな資源の魅力に気づかないことが多々あることから、地域資源を掘り起こすためには外部の視点も重要な手法であると思っております。

県では、これまで石見地域の振興をより強力に進めるため、平成10年に石見地域振興担当の顧問を任せられ、県庁内に石見地域振興担当参事以下担当組織を設置され、石見地域の各市町村の潜在的な力の発掘、活用の知恵袋として大きな力となっていたいております。

また、来年10月に開所される旭の刑務所誘致には真っ先に県庁内で動いていただき、その役割を果たされたと伺っており、今後ソフト重視の地域発展を志向しようとするならば、その役割は従来にも増して重要になってくると考えられます。

このような中、長くふるさとを離れ、国際舞台で活躍されてきたとはいえ、石見の御出身であり、この地域の事情に明るく、高い見識をお持ちの知事として石見振興に今後より力を注がれるよう期待いたしております。

そこで、知事に伺いますが、石見地域の県政上における位置づけと今後の石見地域の振興をどのように考えられるのか、また石見地域振興担当についてどのようにお考えなのか伺います。

